

市町名	松山市	公民館等名	宮前公民館		
			地区館		
		連絡先 (Tel)	089-952-1068		
		ホームページ・SNS公式アカウント			
		 <a href="https://www.matsuyama-people.jp/region/miyamae/">https://www.matsuyama-people.jp/region/miyamae/</a>			
事業分野		事業名	宮前地区郷土芸能継承事業		
		趣旨目的	郷土芸能の保存・継承と人材の育成		
		対象	小学生～大人	参加人数	40名
<p>〈事業内容〉</p> <p>1 概要</p> <p>宮前地区に古くから伝わる郷土芸能である文楽「伊予源之丞」と「虎舞」に対し、その保存と継承を目的とした補助及び事業を行っています。</p> <p>各保存会は、月2回程度公民館を利用して練習を行い、その成果を文化祭や地域の伝統的な行事の席、あるいは様々な芸能発表の場において披露しています。</p> <p>(1) 文楽「伊予源之丞」(伊予源之丞保存会)</p> <p>明治のはじめ、三津新町で荒物屋を営んでいた宝来屋新造が、「宝来座」という一座を組織し、三津の三穂神社で人形芝居を始めたのがこの座の起源です。</p> <p>明治20年以降、大型頭の淡路人形を導入し、県内各地のほか、九州、朝鮮、上海まで巡業の足を伸ばしましたが、大正12年の朝鮮巡業に失敗して一時解散状況に追い込まれました。</p> <p>しかし、有志によって再興され、昭和10年に、現在の「伊予源之丞」に改称しました。</p> <p>(2) 「虎舞」(古三津虎舞保存会)</p> <p>獅子舞の獅子頭の代わりに虎の頭を使う、全国的にも珍しい芸能で、現在では全国49団体で伝承されており、県内では唯一のものです。</p> <p>起源は松山城主加藤嘉明が豊臣秀吉の朝鮮出兵に従軍した際、嘉明の軍勢が苦戦する加藤清正を助けたときに、兵士が虎に食べられたため、虎狩りをしたことが由来とされ、その様子を表したものです。</p>					
					
			【文楽「伊予源之丞」】		
					
			【虎舞】		